平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号 5979　URL http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤 健治
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川 智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,551	5.3	322	△12.7	286	△15.8	174	△17.8
25年3月期第3四半期	5,269	7.6	368	240.2	340	297.4	211	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.23	―
25年3月期第3四半期	14.88	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,730	13,646	86.7
25年3月期	15,713	13,680	87.1

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　13,646百万円　25年3月期　13,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
26年3月期	―	7.50	―		
26年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	6.7	615	0.4	570	△0.2	353	△0.1	24.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②①以外の会計方針の変更	：	無
③会計上の見積りの変更	：	無
④修正再表示	：	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,400,000 株	25年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	161,561 株	25年3月期	161,319 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,238,620 株	25年3月期3Q	14,239,848 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間における国内経済は、政府によるこれまでの大規模な経済政策や金融緩和の効果が広く波及し、円高の是正や株価の上昇が進み、輸出や個人消費、設備投資などが増勢に転じるなど景気は緩やかながらも回復傾向が続いております。一方でエネルギーコストをはじめ諸物価の上昇傾向や海外情勢の変貌、及び下振れリスクもあり先行きの不透明感は強いままにあります。建設関連におきましては、公共事業が堅調に推移する中で、民間建設工事も改善傾向にあります。需要の下支えがあるものの材料等は上昇傾向にあり受注環境は販売価格等厳しい状況が続いております。その結果、売上高は55億51百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は設備工事の改善とマンション等建築工事も堅調なことから設備資器材、排水関連製品が増加し、17億79百万円(同4.9%増)となりました。スチール機材は設備工事関連の改善から床板用などが増加したものの、市場環境は厳しく9億98百万円(同0.5%減)となりました。製作金物は建築外構関連製品が工事の進捗にともない改善傾向になりましたことと免震関連製品も大型工事への納入が堅調なことから、23億41百万円(11.1%増)となりました。その他は建機、機械向け製品が海外需要など低調な状況から生産調整が続いており、土木需要の改善はあるものの、4億31百万円(同6.5%減)となりました。

利益につきましては、材料など仕入価格が上昇基調となり、販売及び受注環境は回復基調にありますが価格など低位な状況が続いております。コスト低減、生産性改善に向け取り組み、売上総利益は18億17百万円(同2.1%増)となりました。販売費及び一般管理費も諸経費負担は改善基調にありますが当期における退職給付費用の増加もあり、営業利益は3億22百万円(同12.7%減)となりました。営業外収支につきましては金融緩和が続いていることから金利が低位にあり、収益の改善には至りませんでした。その結果、経常利益は2億86百万円(同15.8%減)となり、四半期純利益は1億74百万円(同17.8%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ16百万円増加し157億30百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ9億91百万円増加し116億13百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が１年以内満期の長期預金の増加等により8億86百万円、たな卸資産が仕入の増加等により1億5百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ9億74百万円減少し41億17百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が償却の進捗等により56百万円、長期預金が1年以内への振替により9億50百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ51百万円増加し20億84百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が1億3百万円減少しましたが、仕入の増加により買掛金が97百万円、退職給付引当金が64百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ34百万円減少し136億46百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が1億74百万円ありましたが、配当金の支払が2億13百万円あったこと等によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、不透明感は強いものの国内経済の回復基調が続くことも予想され、設備投資、及び公共、民間需要などは底堅く推移することも考えられます。建設関連におきましても震災復興需要や民間工事など増加傾向で推移するものと予測されますが、材料価格等の上昇や労働市場など受注環境の変化も見られるようになっております。変化の激しい環境が続きますが、高度化するお客様のニーズをとらえ、高品質で競争力のある製品を提供し、継続的なコスト改善、効率化を進め、業績の向上を図れるよう努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成25年５月10日に公表した数値から変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,923,919	8,810,603
受取手形及び売掛金	1,575,024	1,600,828
製品	566,107	570,752
仕掛品	81,664	121,618
原材料及び貯蔵品	398,984	459,861
その他	77,199	50,259
貸倒引当金	△632	△641
流動資産合計	10,622,267	11,613,283
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,733,768	1,733,768
その他（純額）	1,215,472	1,158,652
有形固定資産合計	2,949,240	2,892,420
無形固定資産	1,518	3,517
投資その他の資産		
投資有価証券	67,084	74,992
長期預金	1,600,000	650,000
その他	485,537	508,242
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	2,140,622	1,221,234
固定資産合計	5,091,381	4,117,172
資産合計	15,713,649	15,730,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	297,117	394,586
未払法人税等	177,231	73,334
賞与引当金	47,068	17,104
その他	227,769	247,849
流動負債合計	749,187	732,874
固定負債		
退職給付引当金	300,027	364,569
役員退職慰労引当金	386,345	385,062
その他	597,502	601,862
固定負債合計	1,283,875	1,351,493
負債合計	2,033,062	2,084,368

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,593,892	10,554,404
自己株式	△69,144	△69,241
株主資本合計	13,664,747	13,625,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,839	20,923
評価・換算差額等合計	15,839	20,923
純資産合計	13,680,586	13,646,087
負債純資産合計	15,713,649	15,730,455

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	5,269,787	5,551,516
売上原価	3,490,191	3,733,711
売上総利益	1,779,595	1,817,805
販売費及び一般管理費	1,410,681	1,495,645
営業利益	368,914	322,160
営業外収益		
受取利息	18,664	12,300
受取配当金	1,432	1,531
不動産賃貸料	14,236	14,252
その他	9,698	8,827
営業外収益合計	44,030	36,912
営業外費用		
支払利息	13,284	13,264
売上割引	54,316	54,532
その他	5,218	4,918
営業外費用合計	72,819	72,715
経常利益	340,125	286,357
特別損失		
減損損失	1,955	－
特別損失合計	1,955	－
税引前四半期純利益	338,170	286,357
法人税、住民税及び事業税	100,187	112,493
法人税等調整額	26,104	△228
法人税等合計	126,291	112,264
四半期純利益	211,878	174,092

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。